

腎臓組織を用いた腎症評価系の構築に関する研究

1. 研究の対象

研究許可日から 2025 年 12 月 31 日までの期間に、国立がん研究センター中央病院 泌尿器・後腹膜腫瘍科で外科手術を受けられた患者さんのうち、国立がん研究センターの包括的同意いただき、腎臓正常組織の残余試料が利用可能な患者さんが対象になります。

2. 研究目的・方法

慢性腎臓病（CKD）は薬剤による治療満足度が低い疾患です。治療薬の開発は CKD の患者さんにとって大変有用であると考えられます。CKD の進展には腎臓の線維化が関わっているとされ、その線維化を抑制する薬の開発が広く行われています。この研究では、腎臓の組織を用いて線維化を評価する方法を樹立し、医薬品開発につなげることを目的とします。また、CKD では線維化とは別に尿細管細胞が傷害を受け機能を失うことがわかっています。傷害を受けた尿細管細胞を再生させることが出来れば CKD の治療につながる事が考えられ、再性能をもった尿細管細胞（STC：Scattered tubular cells）を単離し、再生能の評価を行います。

この研究では、手術で摘出した腫瘍に近接する正常腎臓組織の検体を用いて、組織を培養して線維化の評価系を確立します。その評価系を用いて、化合物、抗体での抗線維化の評価を行います。また、検体の一部から STC を分離し、この細胞を用いて傷害を受けた細胞の再性能の評価を行います。本研究は中外製薬株式会社から研究の資材の提供および研究資金を受領して行います。

研究実施期間：研究許可日から 2025 年 12 月 31 日（4 年間）

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：外科的切除された腎臓の正常組織残余試料

情報：年齢、性別、感染症の有無、手術前の血液、尿検査データなど

4. 外部への試料・情報の提供

この研究で使用する患者さんの情報、ならびに正常腎臓組織は、個人が特定されない状態で中外製薬株式会社に提供されます。対応表は、国立がん研究センター中央病院 11 階支援施設で保管します。遺伝子解析や病理解析などの一部は委託会社にて実施される可能性があります。また、本研究の成果は、個人を特定できないようデータを加工した後、学会・論文発表などで公開します。

この研究の結果および STC は、本研究の研究目的と相当の関連性のある別研究に将来的に利用する可能性、または民間企業を含む国内外の研究機関に提供される可能性があります。実際に二次利用する研究を行う場合は、倫理審査委員会に申請して適切な手続きを踏んで行います。

5. 研究組織

国立がん研究センター研究所 分子薬理研究分野	濱田 哲暢
	柳下 薫寛
国立がん研究センター中央病院 泌尿器・後腹膜腫瘍科	松井 喜之
国立がん研究センター中央病院 病理診断科	谷田部 恭
	前島 亜希子
中外製薬株式会社 研究本部	堀場 直

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者・代表者：

国立がん研究センター研究所 分子薬理研究分野 濱田 哲暢

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

TEL：03-3542-2511